

教育費

教育委員報酬

166 万円
(前年度:166万円)

(担当: 学務課総務係)

教育全般の重要事項や基本方針などを決定します。

- ・委員長報酬1人分 43万円
- ・委員報酬 3人分 123万円

財源

市の負担額

166万円

教育委員会運営費

33 万円
(前年度:33万円)

(担当: 学務課総務係)

教育委員会に関する事務を行います。

- ・定例会等の会議、各種行事参加の旅費 19万円
- ・教育委員視察研修 8万円
- ・教育雑誌、切手、郵便代 1万円
- ・市町村教育委員会連合会負担金 3万円
- ・滑川市・中新川郡教育委員研修会負担金 2万円

財源

市の負担額

33万円

学校医・学校薬剤師報酬

386 万円
(前年度:386万円)

(担当: 学務課総務係)

小中学校に学校医、薬剤師を配置し、全児童生徒の健康保持増進、環境整備を図ります。

- ・学校医、学校歯科医、学校薬剤師、看護師への報酬 386万円



財源

市の負担額

386万円

教育研究奨励費

193 万円
(前年度:174万円)

(担当: 学務課総務係)

教育研究事業や学校教育に関する大会等への助成などを行います。

- ・内地留学助成費 40万円
教職員が大学で研究をするための費用
- ・学童体育大会費用 11万円
- ・各種大会賞状印刷代 2万円
- ・音楽会費用 16万円
- ・光のコンサートやブラスバンド部の定期演奏会費用 14万円
- ・特別支援学級交流学習会費用 5万円
- ・各種会費、負担金 105万円

財源

市の負担額

193万円

教育費

健康診断・健康相談事業費 426 万円 (前年度:470万円)

(担当: 学務課総務係)

学校における児童生徒、就学予定の児童及び教職等の健康保持増進を図るため健康診断を実施します。また障害を持つ児童生徒の就学指導を行います。

・教育支援委員会委員報酬等	2万円
・健康診断関係帳票	27万円
・教育支援委員会個人調査票作成料	3万円
・歯科検診器具滅菌料	17万円
・飲料水検査料	5万円
・学校プール水質検査料	17万円
・児童生徒健康診断委託料	269万円
尿検査、貧血検査(中2のみ)	
心臓検診(小1、小4、中1のみ)	
結核精密検査(一部)	
・教職員健康診断委託料	65万円
・耳鼻科検診委託料	21万円

財源

市の負担額

426万円

奨学資金 544 万円 (前年度:642万円)

(担当: 学務課総務係)

経済的な理由等により、高校や大学に進学困難な意欲と能力等がある学生を支援します。

- ・大学生への奨学金の貸与 504万円
市奨学生選考委員会に諮り、認定された学生に対し、奨学金を支給します。
(卒業後、返済が必要)

県内大学等に在籍する学生	月2万円
県外大学等に在籍する学生	月4万円

- ・高校生への就学支援金の給与 40万円
市奨学生選考委員会に諮り、認定された学生に対し、支援金を支給します。(返済不要)

高校生	年20万円
-----	-------

財源

その他(繰入金)

544万円

【一部新】幼児教育振興費 194 万円 (前年度:95万円)

(担当: 子ども課児童福祉係)

幼児教育の振興を図るため支援をします。

- ・私立幼稚園運営費補助金 94万円
幼児教育を担う市内私立幼稚園2園に対して運営費の一部を補助します。

【新】私立幼稚園園児送迎バス購入費補助金 100万円

北加積幼稚園の園児送迎用バス購入費の一部を補助します。(補助率1/3 上限100万円)



財源

市の負担額

194万円

幼稚園就園奨励費 180 万円 (前年度:159万円)

(担当: 子ども課児童福祉係)

すべての子供に質の高い幼児教育を保障するため、幼児教育に係る保護者負担を軽減します。

- ・幼稚園就園奨励費補助金 180万円
保護者の所得状況等に応じ、新制度に移行していない私立幼稚園の保育料を補助しています。

※幼稚園就園奨励費の対象になる市内の私立幼稚園・・・希望幼稚園

財源

国県支出金

60万円

市の負担額

120万円

幼稚園保育料軽減事業費 512 万円 (前年度:875万円)

(担当: 子ども課児童福祉係)

多子世帯の経済的負担を軽減するため第2子以降の子の幼稚園保育料等を無料とします。

幼稚園児及び認定こども園の1号認定子どもで第2子以降の子の保育料(給食費含む。)を無料にします。

内訳

第2子	408万円
第3子以降	104万円



財源

市の負担額	512万円
-------	-------

幼稚園施設型給付費 3,723 万円 (前年度:4,066万円)

(担当: 子ども課児童福祉係)

満三歳から就学前の児童の幼児教育を行います。

・施設型給付費 3,723万円
北加積幼稚園及び市外の幼稚園に入所している児童の幼児教育に要する費用を幼稚園に支払います。

・第2子以降の保育料を無料としています。
第2子 217万円
第3子以降 35万円

財源

国県支出金	2,135万円
市の負担額	1,588万円

幼稚園型一時預かり事業費 52 万円 (前年度:300万円)

(担当: 子ども課児童福祉係)

幼稚園等において、保護者の子育てを支援するため、通常の教育時間の前後や長期休業期間中などに預かり保育を実施する園に助成します。

1,300人(延べ人数)×400円



財源

国県支出金	35万円
市の負担額	17万円

奨学事業基金積立金 51 万円 (前年度:45万円)

(担当: 学務課総務係)

奨学資金基金事業を運営するため積立を行います。

・積立金 51万円
卒業生が返還するお金と利子を次の世代の奨学生のために、基金に積立を行います。

財源

その他(奨学資金返済金)	50万円
その他(基金利子)	1万円

教育費

教育のまちづくり事業基金積立金 1 万円 (前年度:1万円)

(担当: 学務課総務係)

教育のまちづくり事業基金の利子等を積立を行います。

- ・積立金 1 万円

財源

その他(基金利子) 1万円

教育委員会事務局事務費 479 万円 (前年度:494万円)

(担当: 学務課総務係)

教育委員会事務局の運営を行います。

- ・教育委員会事務局運営事業 469万円
旅費、燃料代、FAX使用料、切手代、コピー代など、教育委員会事務局の運営経費
- ・滑川高校と仁川海洋科学学校との国際交流に伴う助成金 10万円

財源

その他(災害共済給付保護者負担金) 116万円
市の負担額 363万円

語学指導外国青年招致事業費 1,586 万円 (前年度:1,617万円)

(担当: 学務課総務係)

外国語指導助手(ALT)を配置し、児童生徒の英語力の向上を図ります。

- ・外国語指導助手配置事業 1,586万円
ALT3人を小中学校に配置し、外国語授業や外国語活動のサポートを行います。



財源

その他(家賃代) 81万円
市の負担額 1,505万円

不登校児童生徒適応指導事業費 316 万円 (前年度:361万円)

(担当: 学務課総務係)

不登校児童生徒に適切な指導を行うために青志会館内に「あゆみ教室」を開設し、相談員を配置します。

- ・賃金 3人(常時2人体制) 296万円
- ・報償費
臨床心理士、陶芸等指導員謝金 6万円
- ・旅費
指導員研修旅費、野外活動旅費 1万円
- ・消耗品費 屋内、野外での活動材料費
文房具、あゆみ祭材料費 7万円
- ・役務費
インターネット、携帯電話使用料 5万円
- ・使用料
体育館、公園、宿泊施設使用料 1万円

財源

市の負担額 316万円

心の教室相談員設置事業費 93 万円

(前年度:93万円)

(担当: 学務課総務係)

児童生徒のいじめ、暴力及び不登校などの問題について対応する相談員を小中学校に設置し、児童生徒、保護者の不安や悩みの相談を行い、家庭・地域と学校の連携しながら支援します。

- ・賃金 相談員3人 86万円
- ・役務費 電話料 7万円

財源

市の負担額 93万円

特別支援教育推進事業費 1,532 万円

(前年度:1,508万円)

(担当: 学務課総務係)

障害のある児童生徒をサポートするため、全小中学校へスタディメイトを配置します。日本語が不得意な外国人児童を支援するため外国人支援員を配置します。上市町、立山町、舟橋村と協力して教育相談会（地区相談会）を実施します。

- ・スタディメイト賃金 22名 1,496万円
- ・外国人相談員賃金 2名 28万円
- ・地区相談会講師謝礼 2万円
- ・旅費 スタディメイト研修旅費 6万円

財源

市の負担額 1,532万円

**社会に学ぶ14歳の挑戦事業費 120 万円**

(前年度:107万円)

(担当: 学務課総務係)

中学校2年生を対象にボランティア活動や職場体験をする14歳の挑戦事業を実施します。

- ・事業所指導ボランティア謝金 45万円
- ・活動材料費 14万円
- ・報告書冊子作成 21万円
- ・連絡用切手、生徒・指導員保険料 32万円
- ・検便検査委託料 8万円

財源

国県支出金 60万円
市の負担額 60万円

**学校司書配置事業費 381 万円**

(前年度:382万円)

(担当: 学務課総務係)

全小中学校に学校司書を配置し、市立子ども図書館等と連携しながら、読書活動の推進、読書環境の充実を図ります。読み聞かせボランティアを配置し、朝読書の習慣化を図ります。

- ・学校司書賃金 378万円
専任1人 兼務4人
- ・学校司書研修旅費 1万円
- ・役務費 読み聞かせボランティア保険料 2万円

財源

市の負担額 381万円



教育費

学校評議員設置事業費 80 万円 (前年度:81万円)

(担当: 学務課総務係)

各小中学校に学校評議員を設置し、より地域に開かれた学校づくりを推進します。

- ・学校評議員設置事業 80万円
各学校に学校評議員を5名設置します。

財源

市の負担額

80万円

小学校英語活動推進事業費 70 万円 (前年度:74万円)

(担当: 学務課総務係)

外国語に堪能な地域人材を小学校英語活動支援員として学校に配置し、英語力の向上を図ります。

- ・小学校英語活動支援員賃金 70万円
専任、2校兼務 計5人



財源

市の負担額

70万円

学力向上プラン研究事業費 50 万円 (前年度:50万円)

(担当: 学務課総務係)

確かな学力向上のために、小中学校で拠点校を指定し、実践的な取り組みを行うなど、学力向上を目指します。

- ・学力向上プラン研究事業費 50万円
東部小、西部小、滑川中で実施

財源

国県支出金

50万円

スクール・ガードリーダー配置事業費 15 万円 (前年度:15万円)

(担当: 学務課総務係)

登下校時の不審者等による犯罪から児童を守るため、スクール・ガードリーダーを配置し、児童の安全を見守る体制を整備します。

- ・スクール・ガードリーダー配置事業 15万円
通学路見回り、防犯教室の開催など



財源

国県支出金

10万円

市の負担額

5万円

確かな学びサポート推進事業費 107 万円
(前年度:107万円)

(担当: 学務課総務係)

学力到達検査(CRT)検査を実施し、児童生徒の学力向上を図ります。

- ・学力到達検査(CRT)検査実施事業
国語・算数のテストを年1回実施



財源

市の負担額 107万円

学校教育充実事業費 11 万円
(前年度:12万円)

(担当: 学務課総務係)

学校職員向けの研修会を開催し、教員の資質の向上を図ります。

- ・研修会講師謝礼 6万円
管理職研修、教師力向上研修
生徒指導研修
- ・研修会講師旅費 4万円
- ・研修会事務用品代、切手代 1万円

財源

市の負担額 11万円

特色ある学校づくり推進事業費 180 万円
(前年度: 180万円)

(担当: 学務課総務係)

各学校で特色ある学校づくりを実施するため助成します。

- ・特色ある学校づくり推進事業
1校当たり 20万円

H28年度実績

新川古代神指導、ねぶた流し製作
専門家による書道、合唱、マンドリン、
英会話、水泳、学校農園等の指導
夏休み補充学習教室

財源

市の負担額 180万円

土曜授業推進事業費 43 万円
(前年度:53万円)

(担当: 学務課総務係)

地域人材を活用した多様な学習や体験活動をする土曜授業を実施します。

- ・土曜授業推進事業 43万円



財源

国県支出金 29万円
市の負担額 14万円

教育費

学校図書館充実事業費

52 万円

(前年度:52万円)

(担当: 学務課総務係)

学校図書室に図書を整備し、読書環境の充実に図ります。

- ・児童生徒用図書購入費
学校図書館の標準図書数確保に向け
図書の整備を行います。



財源

市の負担額

52万円

【一部新】科学・理数・ものづくり教育推進事業費 1,840 万円

(前年度:7,067万円)

(担当: 学務課総務係)

理数教育を推進し、ものづくりのまち滑川にふさわしい人材育成を図ります。

- 【拡】観察実験アシスタント整備事業
理科の観察実験をサポートする観察実験アシスタントを配置します。今年度は、理科系研究職経験者等の地域人材を募集します。
- 【新】算数・数学備品整備事業
小中学校に算数・数学備品を整備します。

【新】エネルギーに関する教育支援事業

エネルギーに関する教育に使用する教材を整備します。

財源

国県支出金

917万円

市の負担額

923万円

【一部新】教育センター運営費

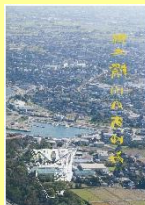
1,218 万円

(前年度: 1,076万円)

(担当: 学務課総務係)

教育センターの各種事業を推進します。

- ・コンピュータコーディネータ（2名）の給料 534万円
- ・センター事務職員の給料 256万円
- ・研修会等の開催費 29万円
- ・センターの運営費 247万円
- ・副読本製作費 153万円
のびゆく郷土滑川
滑川のあゆみ
滑川市の姿
【新】ジオパーク 40万円



財源

市の負担額

1,218万円

学校給食共同調理場管理運営費 7,954 万円

(前年度:8,234万円)

(担当: 学務課 学校給食共同調理場)

市内の小中学生に給食を提供するために必要な調理員等の人件費、燃料費・光熱水費、給食配送委託費など共同調理場の管理運営を行います。

- ・嘱託調理員等の人件費 1,283万円
- ・燃料費・光熱水費 1,655万円
- ・給食配送等の委託料 1,592万円
- ・食器などの備品購入費 760万円
- ・施設や調理機器の修繕費 450万円

<参考>

給食数: 3,242食/日 (H28.4.5現在)
年間給食実施数: 197日 (H28年度)

財源

市の負担額

7,954万円

小学校管理費8,608 万円
(前年度:8,764万円)

(担当: 学務課総務係)

各小学校の維持管理を行います。

- ・小学校管理事業 7,901万円
校務助手雇用経費、消耗品、光熱水費
電話料、切手代、備品購入など、小学校の維持管理経費。

財源

市の負担額

8,608万円

スクールバス運行管理費266 万円
(前年度:197万円)

(担当: 学務課総務係)

通学が困難な山間部に住む児童のために、スクールバスを運行します。

- ・スクールバス運行事業費
運行委託料、車両検査料、燃料代など



財源

市の負担額

266万円

小学校教育振興推進費1,147 万円
(前年度:1,184万円)

(担当: 学務課総務係)

各小学校の教育振興を図ります。

- ・小学校教育振興推進事業 1,147万円
教科書や副読本、児童用図書や備品など、授業に必要な教材を整備します。

財源

市の負担額

1,147万円

小学校情報教育設備充実費2,047 万円
(前年度:2,435万円)

(担当: 学務課総務係)

各小学校にパソコン及び周辺機器を整備し、CAIシステム等の情報教育環境を整えます。

- ・東部小学校CAIシステム機器更新事業
- ・各学校CAIシステム維持管理事業



財源

市の負担額

2,047万円

教育費

要・準要保護児童就学援助費 583 万円 (前年度:761万円)

(担当: 学務課総務係)

経済的な理由から就学が困難な児童の保護者に対し、学用品費や給食費、修学旅行費などを支給することで、教育機会の均等を支援します。

- ・要・準要保護児童就学援助事業 583万円

財源

市の負担額	583万円
-------	-------

小学校特別支援教育就学奨励費 88 万円 (前年度:85万円)

(担当: 学務課総務係)

特別支援学級に就学・在籍する児童の保護者等の経済的負担を軽減するため、就学のために必要な経費の一部を助成します。

- ・小学校特別支援教育就学奨励事業 88万円



財源

国県支出金	39万円
市の負担額	49万円

新幹線利用姉妹都市交流事業費 327 万円 (前年度:287万円)

(担当: 学務課総務係)

北陸新幹線を利用し、姉妹都市である長野県小諸市を訪問することで、小諸市への理解と交流を深めます。

- ・北陸新幹線を利用した小諸市との交流事業費 327万円



財源

市の負担額	327万円
-------	-------

小学校営繕費 917 万円 (前年度: 2,307万円)

(担当: 学務課総務係)

小学校の施設及び設備等について、老朽化等による損傷箇所の営繕を実施し、安全で快適な学習環境を確保します。

- ・北加積小学校ベランダ補修工事
- ・南部小学校体育館ギャラリー等床材張替工事
- ・西部小学校駐車場アスファルト舗装事業
- ・小学校体育館ウレタン塗布工事 等

財源

市の負担額	917万円
-------	-------

教育費

【新】小学校トイレ環境改善費 1,160 万円

(前年度:-万円)

(担当: 学務課総務係)

トイレの洋式化を進めます。

- ・寺家小学校
- ・東部小学校
- ・東加積小学校
- ・南部小学校
- ・西部小学校



財源

市の負担額

1,160万円

中学校管理費

4,671 万円

(前年度:4,858万円)

(担当: 学務課総務係)

各中学校の維持管理を行います。

- ・中学校管理事業 4,671万円
校務助手雇用経費、消耗品、光熱水費、
電話料、切手代、備品購入など、小学校の維持
管理経費。

財源

市の負担額

4,671万円

中学校教育振興推進費

814 万円

(前年度:1,464万円)

(担当: 学務課総務係)

各中学校の教育振興を図ります。

- ・中学校教育振興推進事業 814万円
教科書や副読本、児童用図書や備品など、
授業に必要な教材を整備します。

財源

市の負担額

814万円

中学校情報教育設備充実費

1,465 万円

(前年度:853万円)

(担当: 学務課総務係)

各学校にパソコン及び周辺機器を整備し、CAI
システム等の情報教育環境を整えます。

- ・早月中学校CAIシステム更新事業

早月中学校の教員、生徒が使用するパソコン
を更新します。
- ・CAIシステム機器維持管理事業
中学校の教師、生徒用パソコンシステム等の
維持管理を行います。



財源

市の負担額

1,465万円

教育費

要・準要保護生徒就学援助費 873 万円 (前年度:986万円)

(担当: 学務課総務係)

経済的な理由から就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費、修学旅行費などを支給することで、教育機会の均等を支援します。

- ・要・準要保護児童就学援助事業 873万円
経済的な理由から就学が困難な生徒の保護者に対し助成します。



財源

市の負担額	873万円
-------	-------

中学校特別支援教育奨励費 46 万円 (前年度:52万円)

(担当: 学務課総務係)

特別支援学級に就学・在籍する生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、就学のために必要な経費の一部を助成します。

- ・中学校特別支援教育就学奨励事業 46万円

財源

国県支出金	21万円
市の負担額	25万円

中学校営繕費 680 万円 (前年度: 660万円)

(担当: 学務課総務係)

中学校の施設及び設備等について、老朽化等による損傷箇所の営繕を実施し、安全で快適な教育環境を確保します。

- ・滑川中学校雨天練習場照明改修工事
- ・早月中学校天窓・排煙窓修繕 等

財源

市の負担額	680万円
-------	-------

【新】中学校トイレ環境改善費 120 万円 (前年度:-万円)

(担当: 学務課総務係)

トイレの洋式化を進めます。

- ・早月中学校



財源

市の負担額	120万円
-------	-------

【新】実践的安全教育総合支援事業費 70 万円
(前年度:-万円)

(担当: 学務課総務係)

早月中学校に防犯カメラを設置し、防犯体制を強化します。

- ・【新】早月中学校防犯カメラ設置

財源

国県支出金

70万円

社会教育委員会費 25 万円
(前年度:36万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

社会教育委員に対して、市の社会教育及びスポーツ関連の事業について説明、報告します。委員からの意見を参考に、事業改善を図ります。

- ・委員への報酬 20万円
委員13名（市内小中学校長2名を除く）への委員報酬です。
- ・東海北陸社会教育研究富山県大会の参加費 5万円



財源

市の負担額

25万円

社会教育指導員設置費 99 万円
(前年度:99万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

社会教育の振興を図ることを目的に、社会教育指導員を博物館に1名配置します。

- ・指導員への報酬、雇用保険 99万円

財源

市の負担額

99万円

家庭教育推進費 26 万円
(前年度:32万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

子どもたちの「心の居場所」となる家庭づくりのために、保護者を対象とした各種講座を開催します。

- ・講師謝礼 21万円
※内訳
「親学び講座」 12万円
幼児、児童、生徒をもつ保護者対象
「子育て講座」 6万円
次年度小学校に入学する子どもをもつ保護者対象
「青少年健全育成に関する講演」 3万円

- ・事務費 5万円



財源

市の負担額

26万円

教育費

【拡】放課後子ども教室開催費 308 万円 (前年度:314万円)

(担当:子ども課家庭福祉係)

放課後や土曜日の子どもの活動拠点として、地域の方々の協力を得て、勉強やスポーツ・文化活動を行います。

- ・【拡】放課後子ども教室
平日の放課後と夏休みに、各小学校に1教室ずつで実施。平成29年度からは、子ども図書館においても実施します。(全8教室)
- ・土曜子ども教室
児童館において土曜日に実施。プログラムは8つあり、将棋、工作のほか、一輪車の教室などを行います。

財源

国県支出金	198 万円
市の負担額	110 万円

青少年健全育成事業費 37 万円 (前年度:44万円)

(担当:生涯学習課振興係)

青少年の健全な発達を支援するため、青少年育成滑川市民会議の助成とともに、少年補導委員による補導活動や環境浄化活動を推進します。

- ・補導委員謝礼 16万円
委員は20名以内で、年間1人8回の巡回補導等を実施します。
- ・補導センター運営協議会委員謝礼 7万円
年間2回実施し、活動計画や報告を行い、委員から改善点等を聞きます。
- ・補導センター運営協議会講師謝礼 1万円
- ・県補導センター連絡協議会負担金 2万円
- ・青少年育成滑川市民会議助成金 3万円
- ・事務費 8万円

財源

市の負担額	37万円
-------	------

俳句教室開設費 10 万円 (前年度:10万円)

(担当:生涯学習課振興係)

「俳句文芸の町滑川」の継承と発展のため、俳句ポストを設置したり、小・中学生対象の俳句教室や、一般市民対象の俳句大会を開催します。

- ・教室や大会の講師への謝礼 8万円
- ・事務用品 2万円



財源

市の負担額	10万円
-------	------

【一部新】各種団体育成指導費 62 万円 (前年度:32万円)

(担当:生涯学習課振興係)

地域コミュニティの醸成や新たな担い手の育成のため、市内の社会教育団体に活動費を助成します。

- ・各種団体育成指導事業 32万円
市連合婦人会、児童クラブ連合会に活動費を助成します。
- ・【新】第60回ボーイスカウト富山県大会補助金 30万円

財源

市の負担額	62万円
-------	------

成人式開催費

67 万円
(前年度:67万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

新たに成人を迎える若人の前途を祝福するとともに、新成人の代表が実行委員となり、社会人としての自覚と誇りを促すために成人式を実施します。

- ・ 成人者への記念品 30万円
実行委員会で候補として挙げてもらった品物の中から記念品として渡します。
- ・ 成人のしおり、案内はがき等 23万円
成人式の案内はがきの印刷と当日配布するしおりを製作します。
- ・ 成人者、来賓への案内状郵送 4万円
- ・ 市民会館大ホール使用料 5万円



財源

市の負担額

67万円

【新】同窓会開催支援費

30 万円
(前年度:一万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

若者等の交流を推進することにより、出会い、Uターン等の機会創出に結び付けることを目的に、市内小学校、中学校の卒業生による同窓会の開催を支援し、補助金を交付します。

- ・ 補助金 30万円
要件を満たした場合、1回につき、定額3万円を助成します。



財源

市の負担額

30万円

市美術展開催費

59 万円
(前年度:60万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

美術を通じて市民の教養を高め、香り高い文化のまちづくりを目指して、「滑川市美術展」を開催します。

- ・ 作品看視アルバイト代 6万円
- ・ 審査員への謝礼 15万円
- ・ 入賞者賞金 26万円
- ・ ポスター・出品目録印刷代 8万円
- ・ 事務費 4万円



財源

市の負担額

59万円

音楽鑑賞会開催費

32 万円
(前年度:32万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

芸術文化の振興を目的として市内音楽団体に支援を行います。
豊かな心の育成と表現力、感受性の向上を目指し、親子向けの音楽鑑賞会を開催します。

- ・ 演奏会開催補助金 10万円
年1回開催される定期演奏会を支援するため市音楽協会と市吹奏楽団に補助金を交付します。
- ・ プロの演奏家による音楽観賞会の開催費 22万円
「光のコンサート」の特別ゲスト等による親子を対象としたコンサートを実施します。



財源

その他(基金利子)

1万円

市の負担額

31万円

教育費

音楽教室開催費

27 万円

(前年度:27万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

児童・生徒が音楽を通して豊かな心を育むために、各小中学校において講師を招いて音楽教室を開催します。

- ・講師への謝礼 27万円
小学校の児童を対象に音楽鑑賞会や実技指導を行ないます。
中学校の吹奏楽部員を対象に講習会を行います。



財源

市の負担額

27万円

【新】舞台芸術鑑賞会開催費 100 万円

(前年度:一万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

市民の芸術鑑賞の機会創出として、オペラ公演に際し、主催団体に補助金を交付します。

- ・主催団体への補助金 100万円



財源

市の負担額

100万円

【一部新】男女共同参画推進事業費

134 万円

(前年度:98万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

男女共同参画社会の実現をめざし、「滑川市男女共同参画計画」に基づき啓発活動を推進します。

- ・各地区の推進員による啓発活動
推進員への謝礼 45万円
9地区連絡会への委託料 36万円
- ・公開講座の開催費 9万円
市民向けに講演会を開催します。
- ・【新】「男女共同参画社会に関する意識調査」の実施 38万円



財源

市の負担額

134万円

学校文化施設開放事業費

40 万円

(前年度:47万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

市民の生涯学習活動の支援を行うため、生涯学習センター、地域交流センターの開放を行います。

- ・学校文化施設開放事業費 40万円
学校が使用していない夜間、休日の施設管理を委託します。

財源

市の負担額

40万円

【一部新】文化財保存調査費

141 万円

(前年度:166万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

市内にある文化財の管理や調査、また市内の土地を開発する際に、事前に埋蔵文化財の有無を試掘調査します。

- ・史跡、文化財周辺草刈・剪定・修繕 79万円

- ・史跡等看板修繕 5万円

- ・埋蔵文化財調査 33万円

- ・【新】東加積・山加積地区山岳遺跡1次調査 8万円

国指定史跡となっている上市町黒川地区の黒川遺跡群に隣接する、市山間部の埋蔵文化財について、分布状況と概要を3年計画で調査し、今年度は山加積地区を調査します。

- ・【新】立山黒部ジオパーク現地見学会 5万円

市周辺の自然環境に生きる動植物の現地見学会を、6～10月頃にかけて3回開催します。

- ・事務費 11万円



財源

市の負担額

141万円

ネブタ流し継承事業費

29 万円

(前年度:28万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

国指定重要無形民俗文化財「滑川のネブタ流し」を次代へ継承するため、寺家小学校児童へ伝習活動を行い、また保存会へ助成します。

- ・ネブタ製作指導謝礼 2万円

- ・ネブタ材料代 5万円
(ワラ、竹材、野菜など)

- ・行事保険料 1万円

- ・ネブタ組立、運搬等委託 1万円

- ・ネブタ用ワラ収集作業代 10万円

- ・ネブタ流し保存会助成金 10万円
(4町内会)



財源

市の負担額

29万円

教育費

【一部新】ディスカバー「滑川」ふれあい事業費

106 万円

(前年度: 83万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

学校と地域の連携をいっそう深め、協力しながら児童・生徒を育み、地域社会や家庭の教育力を高め、児童・生徒が地域へ働きかける体験活動を通して、主体的に判断し、行動する能力を身に付けるため、3つの活動を柱に実施します。

- ・学校ボランティア事業 44万円
市内小中学校の児童会や生徒会が中心となり、地域清掃、募金活動、エコキャップ回収などのボランティア活動や、あいさつ運動、高齢者や障害者との心のふれあい活動を推進します。

- ・【一部新】ふるさと探検事業 43万円
滑川のよさを見直し、ふるさとに対する愛着を深めるために、小学生とその保護者を対象に、滑川の自然・文化・歴史に関する体験学習を実施します。

主な事業

もっと知ろうホタルイカ ～ホタルイカ解剖教室～

見て体験して食べよう なめりかわ食育教室

ホタル観賞のつどい

【新】ジオパーク体験ツアー 【新】先人に学ぶふるさと滑川



- ・子どもサミット事業 19万円
次代に活躍する子供たちの代表が一堂に会し、誰かのためになる取組みについて学習や体験をもとに発表したり、自然と人、人と人とのつながりや我がまち「滑川」の将来について意見交換したりします。事前に体験学習や研修を行い、会議の活性化を図ります。

財源

市の負担額

106万円

【新】海外派遣事業費

1,870 万円

(前年度: 一万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

シャンバーグ市（米国）との姉妹都市提携が20周年を迎えるにあたり、交流の促進を図るため、中学生と市内の経済団体の会員等を派遣し、文化交流、同世代交流、経済交流などを行います。

- ・海外派遣事業旅行業務委託
- ・事前・事後研修経費

○派遣先 シャンバーグ、シカゴ（アメリカ合衆国）

○派遣時期 8月

○派遣団員 中学生、市内経済団体の会員等

○主な活動 市役所表敬訪問、姉妹都市提携20周年記念交流会、各施設等の見学・日本の文化、スポーツ、郷土文化の紹介と同世代交流、ホームステイ（中学生）・日本企業の視察、現地経済団体との意見交換（中学生以外）・



財源

その他（参加者負担金）

500万円

その他（助成金）

500万円

市の負担額

870万円

社会教育事務費

97 万円
(前年度:98万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

社会教育に関する事業や事務を行います。

- ・ 全国大会、地区大会出場者激励金 7万円
- ・ 庁用車に係る経費 51万円
- ・ 青少年文化財体験学習施設に係る経費 16万円
光熱水費、消防設備の保守点検など
- ・ 切手代 2万円
- ・ 宿場回廊案内板、輪転機などの修繕料 8万円
- ・ 感謝状筆耕料 1万円

財源

市の負担額

97万円

公民館長等報酬

293 万円
(前年度:293万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

市内9地区公民館に館長・主事・主事補を各1名、1分館に分館長1名を配置します。

- ・ 館長(9名)への報酬 51万円
- ・ 分館長(1名)への報酬 3万円
- ・ 主事(9名)への報酬 166万円
- ・ 主事補(9名)への報酬 73万円



財源

市の負担額

293万円

公民館運営審議会委員費

14 万円
(前年度:14万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

公民館の事業について公民館運営審議会を開催し、調査審議します。

- ・ 委員への報酬 13万円
- ・ その他事務費 1万円

年に2回公民館運営審議会を開催し、中央公民館と地区公民館の運営や事業について報告説明し、審議会委員が審議します。



財源

市の負担額

14万円

公民館指導員設置費

1,027 万円
(前年度:1,029万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

公民館での社会教育、生涯学習の振興を図るため、市内9地区公民館に指導員を各1名配置します。

- ・ 指導員(9名)への報酬、雇用保険 1,027万円



財源

市の負担額

1,027万円

教育費

社会教育活動総合事業費

184 万円

(前年度: 186万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

いつでも、どこでも、誰もが、自ら気軽に学べるよう、各世代の生涯学習の機会を提供するため、各種教養講座、教養教室等を開催します。また、生涯学習情報紙を発行し、市民の生涯学習に関する関心を高め、参加の促進を図ります。

- ・ふるさと市民大学 41万円
各界で活躍中の郷土出身の講師を招き、政治、経済、科学文化、芸術、芸能など一般教養を主とした講座を開催します。
- ・福寿大学 29万円
市内在住60歳以上の市民を対象として、各種教養講座の開催や野外活動等を実施します。
- ・中央公民館教養教室、くらしの窓（教養講座） 45万円
料理、パソコン活用、花遊び、各種体験教室を開催します。各種趣味の講座を開催し、趣味を生かしてのサークル活動を進めるとともに生きがいづくりを図ります。
- ・遊学のまち発行 26万円
情報紙「遊学のまち」を年3回、全戸配布し、市民に生涯学習の情報を提供します。
- ・生涯学習センターパソコンリース料 43万円
市民のパソコン教養教室等に使用します。

財源

市の負担額

184万円

郷土芸能活性化事業費

79 万円

(前年度: 89万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

伝統文化の保存と継承を図るため、郷土芸能育成団体へ助成を行うほか、全小中学校で保存会等と連携し、新川古代神の伝承活動を実施します。

- ・講師謝礼 30万円
新川古代神踊りの指導のために、全小中学校に講師を派遣します。
小学校は運動会で、中学校は龍宮まつり、体育大会で披露します。
- ・扇子、あじろ笠等の購入 40万円
新川古代神踊りで使用する物品を購入し、全小中学校へ配布します。
- ・郷土芸能育成団体への運営補助金 9万円

内訳

新川古代神保存会	5万円
加島町獅子舞保存会	2万円
松坂踊り保存会	2万円



財源

市の負担額

79万円

心豊かなまちづくり推進費

135 万円

(前年度: 135万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

地区公民館を拠点に、各種体験教室や多世代交流活動、地元の文化や歴史を学ぶふるさと教育の推進を図ります。

- ・委託料 135万円
「心豊かなまちづくり推進事業」の実施を9地区公民館に委託します。

※事業の内容

- ・地域の人材を活かした多世代のふれあい活動
- ・ふるさと滑川の歴史・文化に対する理解を深め愛着を育むふるさと講座



財源

市の負担額

135万円

地区公民館活動推進費 1,077 万円
(前年度:1,067万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

地区公民館の活動を推進します。

- ・コミュニティづくり推進事業委託料 170万円
地区公民館を拠点とした活動を助成します。
「コミュニティづくり推進事業」の実施を9地区公民館に委託します。
- ・公民館管理費 902万円
光熱水費、総合保険加入委託料、設備点検料
NHK受信料、CATV利用料など

財源

市の負担額 1,077万円

地区公民館整備費 550 万円
(前年度:172万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

地区公民館の損傷箇所を修繕し、快適に利用できるよう整備します。

- ・東地区公民館 1 階会議室空調工事
- ・北加積地区公民館外壁塗装工事
- ・山加積地区公民館屋根補修工事
- ・その他緊急修繕等



財源

市の負担額 550万円

中央公民館管理運営費 126 万円
(前年度:127万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

中央公民館の運営を行います。

- ・アルバイト賃金 89万円
- ・消耗品費 20万円
新聞代、事務用品、掃除用具、参考書などの購入費用
- ・印刷代 2万円
- ・電話料 5万円
- ・使用料 6万円
NHK受信料、パソコンのリース料、印刷機のリース料

財源

市の負担額 126万円

自治公民館建設補助金 250 万円
(前年度:一万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

自治公民館の建設に助成します。

- ・自治公民館建設に対する補助金 250万円
- 1 補助対象経費
本工事費、付帯工事及び取得費
- 2 補助金額
当該対象経費の15/100
上限額 建物を新築した場合 250万円

財源

市の負担額 250万円

教育費

ふれあい施設整備資金貸付事業費 300 万円 (前年度:一万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

自治公民館の建設費用に対し貸付を行ないます。

- ・自治公民館建設に対する貸付金 300万円



財源
地方債

300万円

公民館事務費 40 万円 (前年度:40万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

公民館に関する事業や事務を行います。

- ・消耗品費 3万円
- ・保険料 5万円
地区公民館の建物総合損害共済金
- ・感謝状筆耕料 3万円
- ・土地使用料 3万円
- ・負担金、補助金 24万円
内訳
県公民館連合会分担金 14万円
東海北陸公民館大会参加補助金 10万円

財源
市の負担額

40万円

図書館管理費 1,923 万円 (前年度:1,624万円)

(担当: 生涯学習課 図書館)

施設の維持・管理を行います。

- ・警備、空調設備やエレベーターなどの保守
点検清掃など 701万円
- ・電気、水道代 504万円
- ・各種機器（防犯カメラ、コピー機等）リース
及びレンタル料 63万円
- ・館内設備等修理 45万円
- ・電話代 13万円
- ・管理用消耗品（トイレトーパー、清掃用
品、蛍光灯等） 13万円
- ・消火栓漏水修繕工事、屋上目隠しルーバー
修繕工事費 等

財源
市の負担額

1,923万円

【一部新】図書館運営費 1,814 万円 (前年度:1,550万円)

(担当: 生涯学習課 図書館)

図書の収集や貸出等、図書館の運営を行います。

- ・図書、雑誌等の購入及び登録経費
（登録用システム使用料含む） 661万円
- ・図書館システム経費 334万円
- ・臨時雇用者賃金 568万円
- ・読書会等講師謝礼 12万円
- ・運営用消耗品（レシート用紙、バーコード、
新聞、官報等） 53万円
- ・印刷製本費（郷土資料等製本費、図書館利用
カード作製費等） 38万円
- ・インターネット使用料 9万円
- ・喫茶コーナー経費（コーヒー豆等消耗
品、看板製作費等） 43万円
- ・協会費、負担金等（日本図書館協会、富山県
図書館協会等） 6万円
- ・図書館テラス用備品購入費
- ・【新】ミニコンサート開催費 5万円

財源
その他（喫茶収入）

65万円

市の負担額

1,749万円

教育費

【一部新】子ども図書館管理運営費 1,910 万円 (前年度:1,901万円)

(担当: 生涯学習課子ども図書館)

子育て支援機能を併せ持つ図書館である子ども図書館の管理運営に係る経費を支出します。

- ・臨時雇用者賃金 233万円
- ・館内展示作品制作謝礼 5万円
- ・運営用消耗品(レシート用紙、バーコード、清掃用品、AEDパッド等) 39万円
- ・図書、施設修理 10万円
- ・電話代 14万円
- ・図書館システム経費 76万円
- ・運営用機器(防犯カメラ、コピー機等)リース経費 36万円
- ・図書、雑誌等の購入、登録経費 162万円
- ・遊具等購入経費 5万円
- ・交流プラザ共益費(電気・水道・清掃等) 180万円
- ・【新】子ども読書活動推進計画改定 1万円

財源

市の負担額 1,910万円

【一部新】本とのふれあい推進事業費 82 万円 (前年度:135万円)

(担当: 生涯学習課子ども図書館)

子どもたちの読書活動の支援、子育て支援を目的とし、子ども図書館において、おはなし会、ワークショップ等を開催します。

- ・おはなし会、子ども映写会 6万円
- ・子育て支援講座、ワークショップ、子どもおたのしみ会 44万円
- ・ブックスタート事業 17万円
市内のすべての赤ちゃんに絵本を1冊プレゼントします。
(4か月児健診受診後～1歳の誕生日)
- ・【新】出張おはなし会 12万円
幼稚園・保育所等へ絵本を持って訪問し、おはなし会を実施します。



財源

その他(県図書館協会) 6万円
市の負担額 76万円

博物館管理費 1,504 万円 (前年度:1,486万円)

(担当: 生涯学習課 博物館)

博物館の維持、管理を行います。

- ・警備、空調設備やエレベーターなどの点検、清掃など 485万円
- ・電気・水道代 336万円
- ・電話代 24万円
- ・館内設備等修理 60万円
- ・車リース料・燃料代(2台分) 55万円
- ・展示ケース購入 100万円
- ・嘱託賃金 388万円
- ・事務費 56万円

財源

市の負担額 1,504万円

博物館運営費 154 万円 (前年度:205万円)

(担当: 生涯学習課 博物館)

市美術協会や各美術団体などの作品展、小・中学生の作品発表展などの開催や、博物館資料の調査・収集をします。

- ・資料購入代 70万円
- ・資料借用等謝礼 8万円
- ・各種協議会会費・出席旅費 11万円
北信越博物館協議会などに際し、情報交換しています。
- ・博物館だより印刷代 5万円
年1回「博物館だより」を作成し、県内外の博物館、美術館等へ配布します。
- ・収蔵資料補修 5万円
- ・事務費 55万円

財源

市の負担額 154万円

教育費

【新】展覧会等開催費

560 万円

(前年度:284万円)

(担当: 生涯学習課 博物館)

「追悼・郷倉和子展」(4~5月)、「米騒動100年展(仮題)」プレイベント(8月)、「滑川の製鉄遺跡展(仮題)」(11~12月)、「銅像・顕彰碑に見る滑川人物伝(仮題)」(1~3月)を開催予定です。

・【新】「追悼・郷倉和子展」(4~5月) 366万円

富山ゆかりの日本画家、郷倉和子は、昭和60年頃から30年近く梅花を描き続けました。本展では、この梅花シリーズの中から、昭和60年から平成27年に描かれた屏風作品等の代表作品など約30点を取り上げ、気品ある郷倉和子の独自の世界を紹介します。

・【新】「米騒動100年展(仮題)」プレイベント(8月) 97万円

「米騒動100年展(仮題)」(平成30年開催予定)に向けて、調査・研究するとともに、8月にプレイベント(町歩き、講演会など)を開催します。

・【新】「滑川の製鉄遺跡展(仮題)」(11~12月) 42万円

日本において、鉄は古墳時代以降に生産されるようになりましたが、滑川においても、日本古来の製鉄法である「たたら製鉄」による鉄生産が行われました。本展では、古代と近世以降の滑川の鉄生産について、遺跡調査成果を中心に紹介します。

・【新】「銅像・顕彰碑に見る滑川人物伝(仮題)」(1~3月) 55万円

現在の市域からは、これまで数々の先賢たちが輩出されてきました。本展では、市内外に広く知られた人物のみならず、地域における活躍や貢献をしてきた人々の中から、銅像や顕彰碑(個人の功績や事蹟等を記した石碑)として名を残す人物にスポットを当てて紹介します。

財源

その他(入場料など)

50万円

市の負担額

510万円

子ども科学教室開催費

40 万円

(前年度:42万円)

(担当: 生涯学習課 博物館)

小・中学生を対象とした自然観察教室(化石教室、植物探検、天文教室)を開催し、またロボットセミナーの開催を助成します。

・化石教室 14万円

市内や市外の新生代、中生代、古生代の化石の採集や、地層観察をします。

・植物探検 8万円

春と秋の草花観察をします。

・天文教室 8万円

春~夏、秋~冬の星空観察や、9月に中秋の名月の観察をします。

・ロボットセミナー開催助成 10万円

ロボットを製作して、デザインコンテストやタイムレースなどの競技を行う「少年少女ロボットセミナー in 滑川」の開催を助成します。

財源

市の負担額

40万円

青志会館管理運営費

490 万円

(前年度:485万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

地域交流センター青志会館の管理運営を行います。

・アルバイト賃金 61万円

・教養教室 12万円

・青志会館管理運営費 149万円

消耗品、光熱水費、切手代、電話料金、設備の保守点検などの経費

地域住民を対象とし、趣味・特技を生かした教養教室やスポーツ教室の開設、サークル活動や余暇を楽しむための施設の提供などを行っています。



財源

市の負担額

490万円

働く婦人の家管理運営費 681 万円

(前年度:1,179万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

働く婦人の家の管理運営を行います。

- ・館長手当、アルバイト賃金 189万円
- ・教養教室、啓発講座講師謝礼 51万円
- ・働く婦人の家管理運営費 173万円
消耗品、光熱水費、切手代、電話料金、設備の保守点検、テレビの受信料、コピー機の使用料などの経費

働く女性と勤労者家庭の主婦をおもに対象とし、技術や教養を習得する教養講座の開設、サークル活動や仲間づくりの場としての施設の提供などを行なっています。



財源

市の負担額

681万円

青雲閣管理運営費

1,839 万円

(前年度:1,901万円)

(担当: 生涯学習課振興係)

東福寺野自然公園研修センター青雲閣の管理運営を行います。

- ・青雲閣指定管理料 1,819万円
(文化・スポーツ振興財団へ指定管理)
- ・マイクロバス車検料 20万円
青雲閣が所有するマイクロバスの車検費用

財源

市の負担額

1,839万円

スポーツ推進委員費

259 万円

(前年度:259万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市内9地区の公民館より選出されたスポーツ推進委員の活動を支援します。スポーツ推進委員は、各地区のスポーツ行事や市のスポーツイベントの運営、ニュースポーツの普及、研修による資質向上を図ります。

- ・スポーツ推進委員40名に対する報酬費 220万円
- ・年2回作成の広報誌(スポーツパラダイス)印刷費用 5万円
- ・スポーツ推進委員が加入する保険料 8万円
- ・市スポーツ推進委員協議会で行われる研修会を支援 2万円
- ・全国、北陸地区、県の負担金や研修会参加費用助成 24万円

財源

市の負担額

259万円

市民体育大会費

175 万円

(前年度:175万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市民体育大会を実施します。23競技が行われ、県民体育大会の予選会として毎年開催しています。

- ・第70回市民体育大会開催費 175万円
(市体育協会へ委託)
大会賞状の印刷費や、選手保険料、大会運営審判謝礼や消耗品、会場使用料等に充てられます。



財源

市の負担額

175万円

教育費

市民スポーツ振興費

369 万円
(前年度:423万円)

(担当:スポーツ課 振興係)

市民スポーツ大会を開催する費用や、全国大会へ出場する選手(一般)への激励費、スポーツ少年団への補助金など、市のスポーツの振興を目的として助成します。

- ・スポーツ振興審議会(年2回)委員報酬 7万円
委員8名(内1名中学校長)
- ・国民体育大会、全国大会激励費 30万円
上記大会へ出場する市出身選手を激励します。
- ・カローリング部品交換費 33万円
大人気の生涯スポーツ「カローリング」の部品を交換するための費用です。
- ・各種大会助成費 208万円
県民体育大会への派遣費や各種市民スポーツ大会の開催費(10種目+武道大会)を市体育協会へ委託。
- ・各種補助金 91万円
スポーツ少年団育成補助(1万×25団体)
バス運行補助金62万円(市体育協会へ)
各種大会(市民ゴルフ等)への協賛金 4万



財源

市の負担額 369万円

総合型地域スポーツクラブ 育成支援事業費

150 万円
(前年度:150万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

総合型地域スポーツクラブ「なめりCANクラブ」の活動に対して助成します。クラブで行われている、市民の皆様が生涯にわたり健康で明るく充実した生活を送るための活動を支援します。

- ・なめりCANクラブへの補助金 150万円
スポーツ教室やイベント等の開催、スポーツ情報の提供、クラブの運営に関する事務等、クラブの活動を支援します。



財源

市の負担額 150万円

温水プール運営費補助金 1,374 万円 (前年度:1,374万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市内唯一の温水プールである、滑川室内温水プール(運営:公益財団法人体力づくり指導協会)の運営費等について、助成します。

- ・運営補助金 計1,374万円
運営管理補助として 1,344万円
下水道使用料助成として 30万円



財源

市の負担額 1,374万円



【新】トップアスリート育成費

481 万円
(前年度:-万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

2020年東京オリンピック・パラリンピックをはじめとした将来の大会を見据え、本市のジュニアアスリートの育成や支援を行います。トップアスリートを招いた講習会や、中学3年生対象のトレーニングスクール、指導者養成を目的とした市民スポーツ大学なども開催します。

昨年までの、ジュニア層育成や支援を目的とした事業を一元化し、より効果的に取組みます。

- ・ ① 全国・北信越中学校体育大会へ出場する中学生への交通費、宿泊費を助成します。
- ・ ② 小中高生の全国大会等出場者に対し激励費を支給します。
- ・ 【拡】 H29より、8000円 ⇒ 10,000円へ増額し、皆さんを支援します。
- ・ ③ 国際大会出場者への激励費を支給します。
- ・ ④ 市が主催するスポーツトレーニングスクールに特別講師を招きます。
- ・ ⑤ トップアスリートを招き、講演会や実技指導の講習会を開催します。

計 211万円



- ・ 県駅伝競走大会選手ユニフォーム費用10万円、チラシ印刷費7万円
- ・ 保険料 (県駅伝選手、トレーニングスクール参加者、トップアスリート講習会) 10万円
国際大会出場者 応援懸垂幕設置費用 7万円
- ・ (市体育協会に委託) 計210万円
競技団体等強化育成費180万円、市民スポーツ大学開催費10万円、
ジュニアスポーツ教室開催費20万円
- ・ 各種会場使用料 6万円
- ・ 中学校競技専門部強化育成補助金 20万円
(市中学校体育連盟へ助成)

財源

市の負担額

481万円

スポーツエキスパート派遣事業費 80 万円
(前年度:80万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市内中学校の運動部へ専門的な経験をもつ外部指導者を派遣します。生徒たちの競技力向上を図りながら、活動が充実したものになるように支援します。

- ・ 1回2,000円、年間24回で、両中学校合わせて最大16名の派遣費用 77万円
(県補助事業 報償費の1/3)
- ・ スポーツエキスパートの方が加入する保険料 3万円



財源

国県支出金	22万円
市の負担額	58万円

子どもの体力向上推進事業 77 万円
(前年度:79万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

子どもの体力向上について、市内全幼稚園、保育園、小学校、中学校が連携し、継続的な視点での取り組みを支援します。

- ・ 幼・保・小学校にプレイリーダーを派遣 (年2回程度) して、運動好きな子どもの育成に継続的に取組む 56万円
指導者(先生)研修や親子運動教室への講師謝礼 3万円
- ・ 小中学生の体力テスト結果や各学校の取組状況を掲載した「子どもの体力向上への取組報告書」を作製。 5万円
- ・ 研修会、教室でのお茶代 3万円
- ・ 消耗品費 紙やトナー代 3万円
- ・ 研修会、教室の保険料 1万円
- ・ スポーツ少年団駅伝大会開催委託料 5万円
(市スポーツ少年団へ委託)
- ・ 各種会場使用料 1万円

財源

国県支出金	9万円
市の負担額	68万円

教育費

ほたるいかマラソン開催助成費 200 万円 (前年度:350万円)

(担当:スポーツ課 振興係)

マラソンを通して健康増進・交流を図ることを目的に、毎年10月に開催しています。本市最大のスポーツイベントで、近年のマラソンブームで参加者が年々増加しています。

- 第21回ほたるいかマラソン運営補助金 200万円
(市体育協会へ補助)

【過去のゲストランナー】

高橋尚子さん、有森裕子さん、増田明美さん
間 寛平さん、東国原英夫さん、石原良純さん
東洋大学陸上競技部女子長距離部門の皆さん
エリック・ワイナイナさん など

(H28:参加者3,804名)



財源

市の負担額

200万円

バウンドテニス交流大会開催 30 万円 (前年度:30万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

第6回滑川キラリン杯バウンドテニス交流大会の開催を支援します。県外からの参加者が多く、バウンドテニスを通じて交流を図る他、スポーツ観光を推進します。

- 大会実行委員会に対し、開催費30万円を補助しています。



財源

市の負担額

30万円

市民スポーツフェスタ開催費 50 万円 (前年度: 50万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市民参加型の総合スポーツイベント「第6回市民スポーツフェスタ」の開催を市体育協会へ委託します。

- (市体育協会へ委託) 50万円

市内で開催されるスポーツイベントの総合開会式としてオープニングセレモニーを開催しています。各競技団体、スポーツ少年団、老人クラブの皆さんなど、約700名が集まり、スポーツ意識の高揚を図ります。

セレモニー終了後は、スポーツ体験イベントやスポーツ施設の無料開放、各競技団体の市民体育大会が開催されます。



財源

市の負担額

50万円

夢の教室開催費 232 万円 (前年度:255万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

現役のスポーツ選手やそのOB/OGを「夢先生」として迎え、小学校5年生、中学校2年生の全学級において特別授業を実施します。

- 日本サッカー協会・こころのプロジェクト推進室に委託 229万円



財源

市の負担額

232万円

スポーツ・健康づくり推進事業費

89 万円

(前年度:200万円)

(担当:スポーツ課 振興係)

ウォーキング・ラジオ体操等の軽運動の推進や、健康ポイント等の実施により、特に高齢者等のスポーツ実施率向上を図り、スポーツを通じた健康長寿社会の創生を目指します。

- ・「朝のつどい」を市体育協会と合同で開催しています。
4月～11月の第1・第3土曜の午前6時30分からスポーツ・健康の森公園でラジオ体操等の軽運動を実施。
- ・キラリン健康ポイントを実施しています。
検診の受診や運動教室への参加、公共施設の利用等でポイントを貯めたら、抽選で記念品を贈呈します。
- ・ウォーキングを推進しています。
健康ウォーキング指導士による教室の開催や、市内ウォーキングコースへの誘導看板を計画的に設置しています。
ウォーキングしながら本市の観光等に親しめるイベントも実施しています。(なめりCANクラブへ委託)
- ・講師謝礼11万円、健康ポイント賞品10万円
- ・各種チラシ印刷20万円、健康ポイント参加賞等5万円
- ・(各種教室保険料2万円、切手代2万円)
- ・ウォーキングコース誘導看板設置費(1コース)



財源

市の負担額

89万円

保健体育事務費

512 万円

(前年度:542万円)

(担当:スポーツ課 振興係)

スポーツに関する事業や事務を行います。

- ・全国スポーツ推進委員研究協議会参加旅費 5万円
全国各地で開催される研修会への旅費です。
職員1名参加(H29:茨城県つくば市で開催)
- ・事務用品の購入 5万円
- ・庁用車燃料代 10万円
- ・単位協会総会用諸費 1万円
- ・切手代 4万円
- ・庁用車リース料 42万円
たくさん荷物を載せることのできる車をリースしています。イベントや行事の時は大活躍します。
- ・県社会教育主事派遣事業負担金 443万円
- ・スポーツ推進委員研究協議会、
県体育施設協会負担金 2万円



財源

市の負担額

512万円

社会体育施設管理費

1,025 万円

(前年度:1,871万円)

(担当:スポーツ課 振興係)

市内小中学校グラウンド・体育館の市民への開放や、下梅沢テニスコート等の社会体育施設を適切に管理し、市民スポーツの振興を図ります。

- ・小中学校体育館の夜間開放管理謝礼 14万円
- ・学校開放用消耗品費 20万円
- ・申請書等印刷費 2万円
- ・グラウンド・体育館照明電気料 302万円
- ・施設修繕料 30万円
- ・建物総合損害共済掛金 21万円
- ・体育館清掃モップクリーニング 9万円
- ・下梅沢テニスコート指定管理料 113万円
(市体育協会へ指定管理)
- ・千鳥スキー場指定管理料 15万円
(管理運営委員会へ指定管理)
- ・滑川中学校夜間照明保安管理業務
- ・北加積小夜間照明施設改修工事
老朽化した照明機器の更新を図ります。

財源

その他(使用料等)

175万円

市の負担額

850万円

教育費

テニス村管理運営費 3,671 万円 (前年度:3,568万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

みのわ温泉テニス村の管理運営について、市文化・スポーツ振興財団へ指定管理しています。年間約5万6千人が施設を利用しています。

- ・ 指定委託料 3,656万円
(市文化・スポーツ振興財団へ指定管理)
- ・ 駐車場用地借上げ費用 15万円



財源

市の負担額

3,671万円

テニス村整備費 155 万円 (前年度:2,530万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

みのわ温泉テニス村の修繕を計画的に実施し、施設の長寿命化を図ります。

- ・ 井戸給水ポンプ取替工事
老朽化した井戸給水ポンプを取替えます。
- ・ 源泉送湯管埋設工事
老朽化に伴い更新した源泉管を安全管理するために埋設します。

財源

市の負担額

155万円

総合体育センター管理運営費 2,822 万円 (前年度:2,697万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

総合体育センターの管理運営を行います。

年間約10万人が施設を利用しています。

- ・ 指定管理料 2,732万円
(市体育協会へ指定管理)
- ・ アリーナ及び武道館の
空調機定期点検委託



財源

市の負担額

2,822万円

【一部新】総合体育センター整備費 820 万円 (前年度:3,100万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

総合体育センターの老朽化に伴う修繕、改修について計画的に実施し、施設の長寿命化を図ります。

- ・ 武道館南面カーテンウォール
雨漏り補修工事
- ・ 【新】総合体育センタートイレ
改修工事(第1期)
平成30年に「全国健康福祉祭 ねんりんピック」が開催されることから、便器の洋式化を進め、大会に万全を期します。
- ・ 【新】更衣室ロッカーの更新
更衣室のロッカーについて、老朽化が目立つことから計画的に更新し、利用者の利便性向上に努めます。

財源

市の負担額

820万円

スポーツ・健康の森公園管理運営費 1,896 万円
(前年度:1,981万円)

(担当:スポーツ課 振興係)

スポーツ・健康の森公園の管理運営について、市体育協会へ指定管理しています。

- ・指定管理料 1,127万円
(市体育協会へ指定管理)
- ・公園維持管理業務委託費 700万円
芝生や樹木等の適正管理について
専門業者へ委託しています。
- ・公園修繕料等 42万円
- ・作業用軽トラ等リース料 23万円
- ・建物総合損害共済掛金等 4万円



財源

その他(公園使用料等)	12万円
市の負担額	1,884万円

【新】屋内運動場建設事業費

1億5,200 万円
(前年度:-万円)

(担当:スポーツ課 振興係)

天候に左右されず健康・体力づくりができる場として、スポーツ・健康の森公園内に新たに「屋内運動場」を建設し、本市のさらなるスポーツ振興を図ります。

【新】屋内運動場の整備

【概要】 鉄骨平屋建 床面積:約1,300㎡ 縦32.4m×横40.4m 天井高約8m
コンパクトかつ簡素な造りとし、建設コストやランニングコストの低減を図ります。
土のグラウンドで整備し、小中学生等の冬場の足腰強化のための練習拠点として整備します。
防球ネットを整備し、野球の打撃練習やサッカーのシュート練習等にも対応できます。
十分な広さを確保し、野球の内野練習やフットサル(2面)、ペタンク(8コート)等にも対応できます。



財源

国県支出金	5,750万円
その他(toto助成)	1,130万円
地方債	5,100万円
市の負担額	3,220万円